

河川水を導入すれば、水道料金が大幅に値上がり！

県は南摩ダムからの水を使って2市1町に水道用水を卸売りする「県南広域的水道」整備事業を計画しています。2市1町が賛同すると浄水場から送水される水を買うことになります。



水道料金が・・・
40～60%値上げに！

2市1町が河川水を導入すれば、安定供給に逆行するだけでなく、水道料金が大幅に値上がりします。

県は、広域的水道の施設整備費約207億円、南摩ダムの建設負担金約64億円などの莫大な費用を負担し、その費用を水の販売価格に転嫁するからです。

専門家は、2市1町の水道料金が40～60%程度の値上げになると試算しています。おまけに水道水はまずくなり、湯水に弱くなります。

2市1町が河川水を導入して、良いことは何もありません。

最優先課題は、施設の老朽化対策！

水源確保に投資している
場合ではありません

日本政策投資銀行は、全国の水道が経常利益を確保しながら経営を持続するには、2046年度までに水道料金を2014年度比63.4%増の水準まで、段階的に値上げする必要があると試算しています。老朽化した施設を更新するための費用が増えるのに、需要の減少により料金収入が減るからです。

水道事業を普通に持続させるだけでも、6割もの料金値上げが必要と言われているなかで、不要な水源確保に投資している場合ではありません。

おいしい水をいつまでも！

地下水は最良の水源です。県は「水道水源が地下水100%ではいけない」と言っていますが、ヨーロッパでは河川水を取水、浄化後、地下に浸透させ、できるだけ地下水に近づけています。2市1町は豊かな地下水を適正に利用し続けてきた地域です。この恵まれた資源を守りながら、有効に使い続け、未来へ引き継ぐことが私たちの選ぶ道だと考えます。

2市1町が高くて、まずくて、危機管理対策にもならない河川水を導入することなく、これからも地下水100%の水道水を維持することを求めましょう。

栃木県南地域の地下水をいかす市民ネットワーク

事務局 〒320-0055 宇都宮市下戸祭1-2-4(八幡山法律事務所内)
TEL 028-600-5106 / FAX 028-600-5107

発行：栃木県南地域の地下水をいかす市民ネットワーク 2017年9月

- 思川開発事業と栃木市の水道水を考える会
☎ 0282-23-1078
- 下野市の水道水を考える市民ネットワーク
☎ 0285-44-6891
- 壬生町の水と環境を守る会
☎ 0282-87-2048

高くてもずい水はご免だ 地下水100%の水道水を守ろう!



栃木市・下野市・壬生町の水道水は地下水100%で問題なし

栃木市・下野市・壬生町（以下「2市1町」）の水道水は100%地下水です。そのおかげで、2市1町は安全でおいしくて安い水道水を安定的に提供してきました。現在、水質・水量ともに大きな問題はなく、地盤沈下の原因にもなっていません。

ところが
びっくり!

2市1町は河川水を導入する予定?

「2030年度に2市1町の水道需要量の35%を地下水から河川水に置き換える」という栃木県（以下「県」）の方針に2市1町の首長は賛同しました（ただし、住民も議会も了承しておらず、「決定」ではない）。河川水を導入する表向き理由は「2市1町で湧水・地下水汚染・地盤地下が危惧される」ということです。しかし、その実態は、県が、必要性もないのに、南摩ダム（2024年に完成予定）に日量約35,000 m³（約8万人分）もの水道用水を申し込んでしまったために、その全量を2市1町に使わせようとしているのです。

2市1町が河川水を導入する理由は成り立ちません

ちょっと
待って!



湧水に備えるというけれど

湧水に強いのが地下水です。雨が少ない年にダムの貯水量が少ないと騒ぐのは、河川水を水源とする自治体です。河川水の導入は湧水対策にはなりません。

地下水汚染に備えるというけれど

現状の地下水源で十分に安全な水道水が供給されています。2011年の原発事故で放射能汚染が問題になりましたが、2市1町の水源はほとんどが深井戸であり、放射能汚染が及ぶことはありません。

栃木県・県南地域の地盤沈下面積の推移



【注】2011年の沈下面積の増加は東日本大震災の影響による

20年前から地盤沈下は沈静化している

出典：栃木県地盤変動・地下水位調査報告書(2015年度)

県南地域の地盤沈下は20年前から沈静化しています。水道用地下水の採取は2割のみで、その大半は農業用が占めています。農業用の地下水採取の減少に伴い、地盤沈下は沈静化しました。

地盤沈下を防止するというけれど